

ホープスが提供する独自のアスリート教育プログラム アスリート受講人数が初の年間1,000人を突破 アスリート教育ニーズの高まりが顕著

株式会社ホープス（東京都渋谷区：代表取締役社長 坂井伸一郎）が、2000年の創業以来、16年間に渡って提供してきたアスリートを対象とした独自の教育プログラムの2016年受講人数が、年間受講者数として初めて1,000名を突破しました。（集計数値は延べ人数）

アスリート教育ニーズが高まっている背景には、1) ここ数年のアスリートによる法令遵守違反やSNS上などにおけるモラル・リテラシー欠如問題が頻発していることや、2) 各種競技の指導環境や競争環境がグローバル化・高度化していることにより、アスリート自身の思考力強化や新たな能力開発の選択肢が求められている、3) アスリートのセカンドキャリア問題、といったことが考えられます。

株式会社ホープスでは、このような環境をしっかりと把握し、顧客ニーズに最適なアスリート教育プログラムを2000年の創業以来16年にわたり提供し続けています。

その結果、2016年のアスリート教育プログラムは、埼玉西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズなど日本プロ野球所属3球団の新入団選手・若手選手・ファーム指導者をはじめ、夏季、冬季オリンピック出場選手、他様々な競技団体の強化指定選手やジュニア選抜選手に受講されています。また2017年1月からは、新たに東京ヤクルトスワローズへのアスリート教育プログラム提供開始が決定しています。

株式会社ホープスでは、これまで提供している独自のアスリート教育プログラムのさらなる強化を図るとともに、今後の国際総合競技大会に向けてより多くのアスリートおよびスポーツ競技団体へ本プログラムを積極的に提供していく予定です。

＜ホープス独自の教育プログラムの特徴＞

- ①450名を超えるホープス登録講師陣が顧客のニーズに応じたカスタマイズ・プログラムを設計
- ②アスリートにとって最適な環境でのプログラムの提供
- ③競技力の向上につながるだけでなくヒューマンスキルをも養うプログラムの作成



実際の指導の様子

◆会社概要

株式会社ホープスは、体操界の世界的名伯楽であるカロリー夫婦（注1）の下でアスリート指導法を直接学び、米国体操オリンピック選手指導経験も有する野村り子により2000年に設立された、アスリートや芸能人、経営者などのプロフェッショナルな社会人の成長支援を専門におこなう教育研修会社です。現在ではその独自のノウハウや実績が評価され、一般企業や学校法人からも要請を受けて、教育研修サービスを提供しています。

（注1）ベラ&マルタ・カロリー夫婦は、1976年・1980年の五輪女子体操の金メダリスト ナディア・コマネチを育てた体操界の名伯楽。1981年に米国亡命した後は、米国体操ナショナルチームのコーチとして、1984年に米国体操選手初のオリンピック金メダルをメアリー・ルー・レットンにもたらししました。東西冷戦下において国家や体制を超えて金メダリストを育てた独自の指導法は高く評価されており、現在も米国体操界で指導者として活躍しています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ホープス 広報担当：坂井（代表取締役社長）
電話：03-6451-2450
FAX：03-6451-2458
メールアドレス：info@hopes-net.org